

# KOCHI 2018 ROTARY 2019 CLUB SINCE 1937



## 週報



Weekly report 第3363回

2018年9月18日

2018年9月25日発行

### ● 会長挨拶



皆さん、こんにちは。長期休会をしてしまいすみません。実は、脊柱管狭窄症が首と背中の方にあつて、これはCTやMRIがないとなかなか見つからない病気です。3年前からお医者さんに脅かされていましたが、まだまだ大丈夫だと思っていると、去年の暮れごろから首の方がどんどん悪くなって、このままいくとあと2、3ヵ月で歩けなくなる。ショックを与えると神経が切れるから、首から下が完全に麻痺するよと言われました。整体や注射、薬では治らない病気なので思い切って手術をしました。術後は順調です。背中は首ほど悪くありませんので、何とか来年7月ぐらいまでは持たせようかなと思っています。

たくさんの皆さん、また大久保副会長にも大変ご迷惑をおかけしまして、申しわけありませんでした。

ネットの世界ってすごいですね。私はお医者さんを探すのにネットを使いました。このお医者さんは、アメリカでご自分の手術のノウハウを開発した方です。でも、医療業界ではすぐには認められず、ご自分の努力と手術を受けた方の評判で次々と手術をされてきたようです。ここ18年間で5,000例以上、手術を受けた方の経過が非常にいいと、極一部の世界ではとても有名になっていました。同じ手術をアメリカで受けると、とても高額らしいです。日本の場合は保険もききますので、比較的安価な費用でできるようになっています。

3週間の入院、手術の時間は2時間弱。終わると集中治療室のような感じのところ、24時間いるだけで次の日は自分の部屋に帰り、おまけにすぐ歩けました。コルセットのようなものも1週間ぐらいはしていましたが、「外していいよ。外へ出てどんどん歩きなさい」と。そんなことで、徐々に良くなってきてるかなという感じです。



### ■本日のプログラム [ 9月25日 ]

情報集会報告 ②

|       |           |
|-------|-----------|
| 会 長   | 横 田 英 毅   |
| 副 会 長 | 大 久 保 千 堯 |
| 幹 事   | 中 島 和 代   |
| 副 幹 事 | 中 澤 陽 一   |
| 会報責任者 | 武 樋 泰 臣   |

● **ロータリーソング** 「四つのテスト」

● **今週のピアノ曲** 「ムーンリバー」 ピアノ演奏：宮地公美子会員

● **お客様**

2012～2014年米山記念奨学生 王 静芸さん

◆ **ご挨拶**

◎王 静芸さん

皆さん、こんにちは。元奨学生の王 静芸と申します。皆さまのおかげで4年前に工科大学を卒業し、九大の教員になりました。2年振りに高知に戻ってみると、以前より美しくなっていました。きれいな科学館と図書館ができていました。

今年2月に出産して双子ができました。今日は、皆さんにご挨拶できることがとても嬉しいです。ありがとうございます。



◆ **情報集会発表**

◎9月5日 Bグループ (発表・磯村泰志会員)

1. 幸福と満足について

- ・幸福とは精神的なものであり、満足とは物質的なものであるという整理ができるのではないか。
- ・物質的なことの例えとして、食べ物、食事で満足はするけれども、幸福とは言えない。物質的な物から受けるのは満足というふうに定義されるのではないか。
- ・満足というのは、瞬間的、時間が限られたものである。幸福というのは、永続的なもの。
- ・満足とは、簡単に手に入らない物。手に入れたときに大きな満足が得られるのではないか。しばらく高知を離れていると、郷土の料理が非常に懐かしくなる。食べると大変な感動がある。高知に帰ってきて、毎日おいしい物を食べていると当たり前になってしまう。満足というのは、環境に左右される相対的な感覚ではないか。
- ・高知では簡単にゴルフ場に行ける。これは大変な幸せである。
- ・幸福と満足というカテゴリーに加えて、あるいはその前提として健康というものの視点が大切である。健康でないと幸福や満足は得られない。健康寿命を延ばすことが大切。



2. ロータリークラブについて

- ・業種の違う方と交流できる。これが自分のためにもなるし、大変楽しいことでもある。
- ・ゴルフ仲間ができて、とても幸せ
- ・淋しいから一緒にみんなで集まった。ここがロータリーの原点ということではないか。

3. その他

- ・特にサラリーマンは、リタイアしたら家庭内で、奥さんとの立場が逆転する。食・住の権限を持っている人が力を持つので、あらかじめ準備しておいた方がいい。
- ・転勤族はもっともっとロータリークラブを活用した方がいい。仕事の宣伝等、持ち込んでいい。それが職業奉仕の一環である。

◎9月5日 Dグループ (発表・笠井勇治会員)

前半は幸福と満足について、後半はロータリークラブについて話した。

まず、テンプラ、トーフ、刺身などたくさんのおいしい料理が出てきて、前日の台風で宴会がキャンセルになったので、こんな料理が一気に出てきたのではと疑念が湧いた。が、それはとんでもない勘違いだったと思い知らされる。冒頭に出てきた生卵にヒントが隠されていた。仁井田米で卵かけご飯にするのではないか、いやすき焼きだと議論白熱。正解はすき焼きで、古谷さんのおもてなしの心に全員で拍手。単身赴任の私は肉が出てきただけで嬉しくたくさん欲しかったが、森会員が幸せそうに1人で肉をほおばっていて、こちらに回して欲しいと言えなかった。



まず、リーダーから「私は横田チルドレンだから」という発言があり、変な発言ができないじゃないかとみんな凍り付いた。また、リーダーから「正解がないからくったくのない話をしてください」とアドバイスがあり、口火を切ったのは、オブザーバー参加の中島幹事。15分くらいの大演説。私は森会員が肉を食べ過ぎんじゃないかと、そっちの方が気になって、ほとんど話を聞いていなかった。

- ・幸せは自分の中にあり、満足は相手次第。お金はなくても幸福は得られる。幸福は身体全体に行き渡る。満足はお腹に貯まる。
- ・満足は100以上のものを求める。幸福にはレベルがない。
- ・幸せは自分が追求していくもの

正解はないと言っていたリーダーから、「辞書によると、満足の延長線が幸福であるとなっている」といきなり正解を突きつけられたが、横田チルドレンからの発言は絶対に正しい。意見をいう人は誰もいなかった。次に「幸福と満足を頭に入れながら、ロータリーについて発言してください」とリーダーから。こちらもおブザー参加の中島幹事から話が始まり、お酒も入っていたせいか「幹事になったのは不満足」などと大演説。



- ・新しいメンバーの顔と名前は一致するが会社名が出てこない。もっと交わりが欲しい。
- ・親睦以外は何をやっているか分からない。ロータリーには長くいないと自分が何ができるか分からない。情報集会は他のメンバーと交わってありがたい。将来はガバナーまで突き進む。
- ・ロータリーに入れなかったら交われない人たちと交われる。ベテランの卓話も聞きたい。他のロータリーの卓話も興味があったら聞きに行きたい。
- ・60代のときは、卓話が昼寝をするのに丁度いい時間だったし出席が面倒だった。70代になると寝ずに聞いている。出席もサブリメントになっている。
- ・日和崎さんに誘われて、最初は絶対無理と思ったが、今になると感謝している。ロータリーの人脈はすごい。

そこへ、もう1人のオブザーバーである大久保副会長が、いかにもお酒を召し上がった赤い顔で入ってきて「他のテーブルの話は面白かった」と超ゴキゲン。そのころにはすっかり横田チルドレンとなっていた私たちも、なぜか幸せな気持ちになれましたトサ。

## ◎9月5日 Aグループ (発表・眞田直也会員)

### 1. 幸福と満足について

- ・褒章の際、受章したことよりも皆さまにお祝いを開いていただいたことが幸せだと感じた。
- ・満足は量的なこと。お客様が増えた、ビジネスがうまくいったなど。
- ・子どもが歩くようになったなど成長や充実は幸せである。
- ・健康で食べるのがおいしい。社員が生き生きと働いて幸せそうにしているのが幸せに感じる。
- ・幸せは移るが満足は移らない。
- ・幸せはそれぞれの価値観や感謝、心とつながっているが、満足の近くには感謝はない。
- ・旅行業として、お客様の満足を叶えるのは当たり前だが、その先にある幸せまで踏み込んだ仕事ができれば幸せ。



- ・テレビ番組「世界！極タウンに住んでみる」の中で、極タウンに住んでいる人に「何でここに住んでいるのか」と聞くと、「ここにいること、家族とここに住めることが幸せ」と答えていたのが印象的で、満足というのは環境に左右されるものだと感じた。何もなくても周囲と変わらない生活をしていると、ある程度の満足感はあるが、生活が劣っていると感じると満足を損なう。
- ・今の生活にある程度満足していても幸福感が足りないため、それを満たそうと勘違いして満足を求めてしまうのではないか。結果として度を越えて、貪欲になり幸福を得どころか身の破綻を招いているのが現状ではないか。求めるべきは、物を増やす満足ではなくて、心を満たすことによる幸福である。心を豊かにしようとする人こそが幸福を得られるものではないか。

### 2. ロータリークラブについて

- ・入る前は、奉仕団体に何か役に立つことをしなければいけない。何をしているのか分からないと思っていた。
- ・経営者のサロン、転勤族は馴染みにくいのではないかな。
- ・ロータリーの目的には「奉仕」という言葉が常に出ているが、難しく考えずに自らできることをやればよい。1人でやれば大変なのでできることから始めればよい。ただ、奉仕も大事だが、親睦、友達をつくるのが非常に大事である。
- ・高知RCの良いところは、親分、子分にならない。女性が活躍している。女性の意見を重視している。単なるロータリーの関係ではなく友人ができる。
- ・会長よりも幹事の仕事が大変であるが、皆さんに支えてもらっているお陰で幹事ができている。
- ・女子会が高知RCを支えていると言っても過言ではない。
- ・ロータリーは命である。ロータリーを毎回楽しみにしており、出席できることが満足であり、幸せである。

## ●会長講評

変な出題をして申しわけありません。常々、私は身近なことに疑問を感じるクセがあり、例えば、会社の経営って何をするか。管理とどこが違うか、といったようなことにどんどん深く入って行って、自分では整理できないから友人に次々と問いかけたりしていると、だんだんと友達がいなくなったりします。(笑)

外国人に「人は何のために生きていますか？」と聞くと、大体がすぐに「幸せになるために生きています」と、答えが返ってきます。日本人に聞くと、ちょっと考えて最後に「幸せになるため」というところまでいきますが少し時間がかかります。じゃあ、社員を幸せにするって、何をどうしたらいいの？というのが次の疑問。その辺を日本中の経営者の方は意識していないんじゃないかなというのが、私が常に感じていることです。

バブルがはじけた1992、1993年ごろ「顧客満足」ということがしきりに言われるようになりました。それから10年ぐらい経って、従業員満足も大事と言われるようになりましたが、そのいずれも業績を上げるということが前提になっています。本来は、社員を幸せにするために会社を経営するというのが、あるべき姿ではないだろうかというのが、私の主張です。社員を幸せにするためには何をしないといけないかということで、いろいろなことをやることが会社経営であり、それをうまくやれば業績が上がる。業績が上がると、ますます多くの社員を幸せにできる。こういうアプローチが大切なことではないかと思うのですが、世の中の流れはそんなふうにはなっていません。

最近「働き方改革」といわれていますが、働くことはしんどいこと、疲れること、嫌なこと、だから時間を短くしようという方向にいたり、異論を唱える人はほとんどいないのが不思議です。この辺りを、10月16日に時間をいただきましたので、お話したいと思います。

### ◇ 例 会 変 更 ◇

|          |           |             |          |        |                  |
|----------|-----------|-------------|----------|--------|------------------|
| 高知西RC    | 9月28日     | 創立記念夜間例会(三) | 高知南RC    | 10月 4日 | 月見例会(阪)          |
| 高知RC     | 10月 9日    | 夜間例会(三)     | 高知ロイヤルRC | 10月 9日 | 定款第8条第1節により休会(旭) |
| 高知東RC    | 10月10日→8日 | 周年行事に変更(阪)  | 高知中央RC   | 10月11日 | 定款第8条第1節により休会(城) |
| 高知北RC    | 10月15日    | ロータリー休日(三)  | 高知東RC    | 10月17日 | ロータリー休日(阪)       |
| 高知中央RC   | 10月25日    | ロータリー休日(城)  | 高知西RC    | 10月26日 | 地区大会に振替(三)       |
| 高知北RC    | 10月29日    | 地区大会に振替(三)  | 高知RC     | 10月30日 | ロータリー休日(三)       |
| 高知ロイヤルRC | 10月30日    | 地区大会に振替(旭)  |          |        |                  |

※例会場ホテル：(三)…三翠園 (城)…城西館 (阪)…ザクラウンパレス新阪急高知 (旭)…ホテル日航高知旭ロイヤル

### ニコニコ箱

- 横田 英毅 長期休会をしてしまいました。大久保副会長はじめ、皆さまに大変ご迷惑をかけてしまいましたので……。
- 中島 和代 情報集会の発表では、皆さま充実した情報交換となったことを実感させていただきました。笠井会員、今後、十分注意して幹事を務めさせていただこうと思っております。本日はゆとりの時間割と思っておりましたが……、そうではありませんでした。
- 大久保千堯 横田会長さんお帰りなさい。全く変わってないお姿を拝見し、ホッとしました。余りご無理をされないよう、お大事になさってください。
- 海治 勝彦 妻の誕生日に素敵な花をありがとうございます。事務局の河野さん、配達の日時を変更してくださり、ありがとうございます。お陰で受け取ることができました。
- 笠井 勇治 妻の誕生日に素敵な花を贈って頂きありがとうございます。
- 眞田 直也 妻の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。大変喜んでおり、感謝申し上げます。



### ◎ 9月18日 長期交換学生エイプリルさん ウェルカム・パーティー (三翠園)

9月18日(火)、三翠園において本年度の受入交換学生エイプリル・デラクルスさんのウェルカム・パーティーが開かれました。市内7RCクラブ、土佐女子高校、ホストファミリーその他関係者が参加、皆で事業を支えている一体感の感じられる楽しい交流会となりました。10月9日の夜間例会にはエイプリルも参加します。エイプリルさんのホストクラブとして、クラブ挙げて応援していきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



| ◇ 出 席 率 ◇ |         |    |    |        |       |
|-----------|---------|----|----|--------|-------|
|           | 総数      | 出席 | 欠席 | メークアップ | 出席率   |
| 9月18日     | (-7)93  | 50 | 24 | 12     | 72.09 |
| 9月 4日     | 台風のため休会 |    |    |        |       |

### ● 累計額 [9月18日現在]

|       |          |                            |          |       |          |
|-------|----------|----------------------------|----------|-------|----------|
| ニコニコ箱 | 318,000円 | ロータリー <small>さん</small> 基金 | 107,220円 | ポリオ募金 | 126,000円 |
|-------|----------|----------------------------|----------|-------|----------|

### ■ 次週のプログラム [10月 2日]

ゲストスピーチ  
高知みらい科学図書館 館長  
高橋 信裕 氏

創 立 昭和12年10月  
例 会 日 火曜日 12:30~13:30  
例 会 場 三翠園ホテル TEL(822)0131  
事 務 局 高知市本町3丁目2-15 高知新聞放送会館1階  
TEL(824)8660 FAX(824)2529  
E-mail shinairc@joy.ocn.ne.jp  
HPアドレス <http://www.221.ne.jp/kochirc/>